

浅田 二郎 議員

「所在地割」を考慮すべき

問 新病院建設が、掛川のまちづくりに大きなメリットをもたらしている。建設費の負担割合に「所在地割」という考え方が必要ではないか。

答 現行の算出方法は、両市議会特別委員会でも十分検討され、組合議会で可決されたものである。

造成費用案分の公平性に疑問

問 新病院造成費用の案分は、敷地面積割となった。それぞれの造成の容易度や経費の多少などが考慮されず、また有効面積での評価がなされていないが、適切で公平なものか。

答 造成費が安くなることから一括造成とした。費用負担については、両市議会特別委員会で協議され、組合議会全員協議会で了承されている。



中東遠総合医療センター外観（平成24年6月末現在）

経費の区別は適切か

問 新病院建設事務組合の費用区分のうち、「組合の管理及び運営に係る経費」とは、経過からして「組合そのものの管理・組合そのものの運営に係る経費」ではないか。

答 組合職員の人件費や事務所借上料はもとより、病院の建設に直接関係しない経費や資産の増加を伴わない経費もそれに区分されている。

山田 貴子 議員

生活保護に陥らない

まちづくりの推進を

問 受給者の初期チェックや不正防止、外国人に対する指導や就労支援はどうしているか。

答 受給の可否は、生活保護査察指導員と職員6人による会議で決定している。外国人受給者は、3年間で7倍余になり、適正な指導とともに就労支援などを行っている。

安心して登下校できる

道路環境を確保すべき

問 通学路の安全対策と危険個所の周知・対策を早急にすべきと考えるがどうか。

答 通学路安全対策会議を設置し、子どもたちへの注意看板等の設置を含め、具体的な対策を検討し、地域と連携を図る中で早急に実施したい。

学校で放射能の知識を

持たせ安全につなげるべき

問 放射能に対する教育はされているのか。また、教職員がどのように理解し、児童に指導しているのか。

答 静岡理工科大学の教授による講演を実施したほか、放射線教育研修会を実施する。今後モデル授業を参考に、小中学校でも放射線教育の授業に取り組んでいきたい。



袋井北小学校での放射線教育モデル授業